



しげのお
滋宣の

ほうちゅう かん あんちゅう めい
“忙中閑あり暗中明あり”

その 16

～ 友待つ雪 ～

本を読んでいましたら、「友待つ雪」という言葉に出会いました。前日に降った雪が、後から降る雪を待って、まだ消え残っている雪のことだそうです。

古い歌にも

「白雪の 色わきがたき 梅が枝に
友待つ雪ぞ 消え残りたる」

と詠まれています。

きれいな言葉です。日本人の感性の素晴らしさを感じます。

先日、北海道で中学校の校長先生をしている友人が、小学校の校長先生と一緒に生徒の学力向上のため、能代市に視察に来ました。久しぶりに再会し、楽しい一時を過ごしました。

また誰か、友が来ないかと「友待つ雪」も待っているのでしょうか？

能代市長 齊藤 滋宣



10月27日、登校時一声運動・マナーアップ運動で